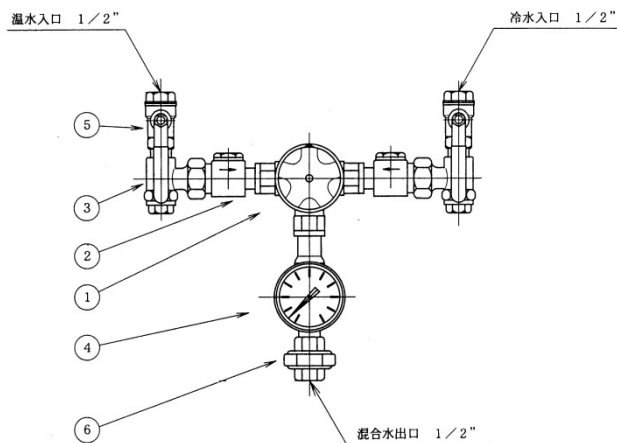


レオナード シャワー・手洗い用サーモスタット GUS-215 型取扱い説明書

■概要

シャワー・手洗い用サーモスタット GUS-215 型は温水と冷水を混合して適温水を製造し、1つ又は複数のシャワーや手洗い水栓に適温水を供給するための Rada サーモスタットミキシングバルブユニットです。

■各部名称



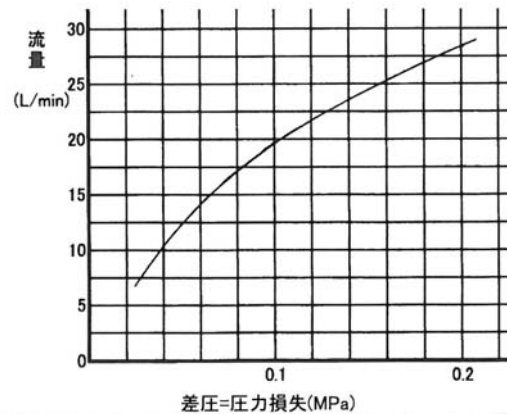
6	ユニオン
5	ボール弁
4	温度計
3	ストレーナー
2	逆止弁
1	RADA ミキシングバルブ
符号	名 称

■仕様

最大流量(L/min)	35
最小流量(L/min)	3
最大静止時圧力(MPa)	1
最大使用差圧(MPa)	0.2
最小使用差圧(MPa)	0.01
給水/給湯圧力比	1 : 1 (等圧)
最適温調範囲(°C)	30~50
最高給湯温度(°C)	85
最低給水温度(°C)	1
出湯温度と給湯、給水各々の必要温度差(°C)	15°C以上

■流量

流量表を参照下さい。(流量表は給湯圧力、給水圧力が等しく、混合水温度が給湯温度と給水温度の中間程度で出口開放時(背圧ゼロ)における出湯量です)



■注意事項

- ・ 1日の使用時間は1～6時間程度を標準使用時間としています。
- ・ 水道水又は飲料に可能な井戸水をご使用下さい。温泉水はご使用になれません。
- ・ 給湯、給水圧力は同圧でご使用下さい。
同圧でない場合、熱湯が出たり、冷水が出たりすることがあります。
- ・ 出湯温度と給湯、給水温度の差が15℃以下になると温調特性が低下し始めます。

■設置方法

- ・ 取付け中は、ケガや製品の破損のないように充分注意して下さい。
- ・ ミキシングバルブユニットは、使用やメンテナンスのしやすい場所に設置して下さい。
- ・ メンテナンスの為に、仕切弁を適切な場所に必ず取付けて下さい。
- ・ 漏水の可能性がありますので、防水・排水の設備のある箇所に取付け下さい。
- ・ ミキシングバルブユニットを取り付ける前に配管のフラッシングを十分に行いゴミ等を取り除いて下さい。
- ・ ミキシングバルブユニットを垂直に取付けて下さい。水平に取付けると温調が正しく制御できません。

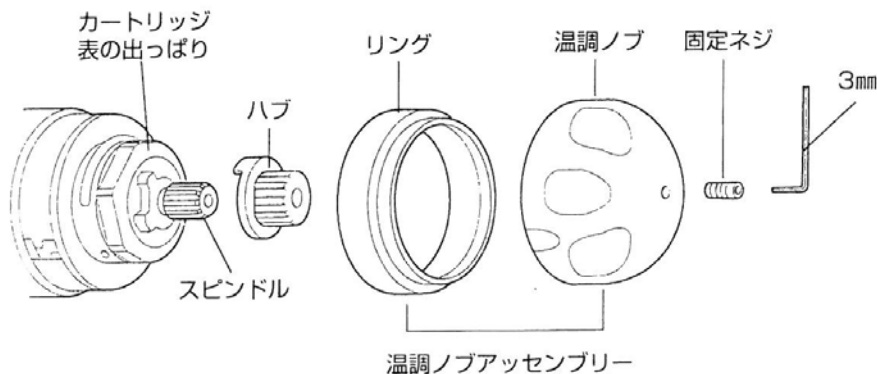
■使用方法

- ・給湯,給水が所定の圧力、温度で供給されているか確認して下さい。
（給湯・給水が作動時に同じ圧力になるように調整して下さい。）
- ・ユニットの給水,給湯の元バルブ（ボールバルブ）を開いて下さい。
- ・温水使用箇所では温水を使用されると、ミキシングバルブで調温された温水が製造され、適温水が吐出します。
- ・温水（混合水）温度を上げるときにはミキシングバルブの温調ノブを反時計方向（左回し）に、下げるときは時計方向（右回し）に回してください。
温水出口の温度計を見ながら行って下さい。

■最高出湯温度の設定

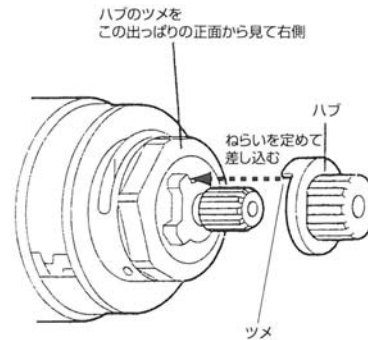
- ・ミキシングバルブユニットに十分な給湯が行われているか、チェックして下さい。

給湯温度は必要な出湯温度より少なくとも15℃高いことが必要です。



- ①温調ノブを外して下さい。
- ②温調ノブにハブが付いて外れる場合がありますので、ハブを外して下さい。
- ③スピンドルを必要な温度が得られるまでゆっくりと回して下さい。
（もし回しにくくなった場合、それ以上回さないで下さい。内部パーツが破損する恐れがあります。）
- ④必要な温度が得られましたら、カートリッジの表のどっぴりを正面から見て右側の面にハブの爪（下図参照）があたるように差し込んで下さい。
（ハブがそれ以上左に回らないことを確認して下さい。）

- ⑤温調ノブのインジケータがリングの赤いマークの左側に来るように温調ノブをハブに差し込み、取付けて下さい。

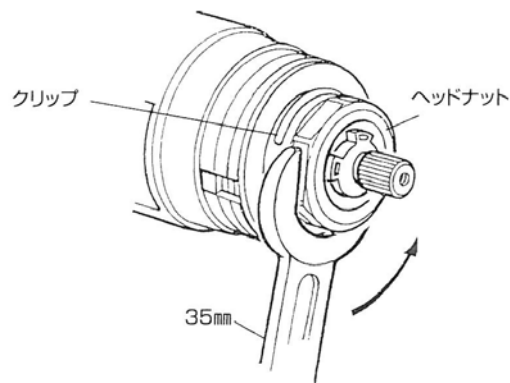


■メンテナンス

- ・ 入ロストレーナーの点検・清掃を行って下さい。
- ・ ミキシングバルブはフルカートリッジ式ですので、故障の場合はカートリッジを新替して頂くことになります。

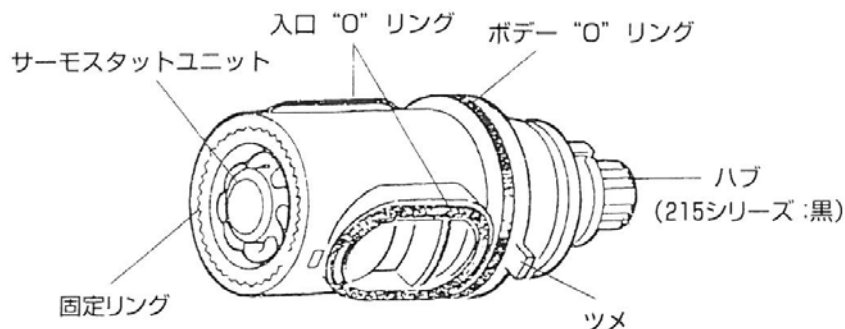
<サーモカートリッジ取り外し>

- ①ミキシングバルブへの給湯・給水を止め、出口を開いて中に残った水を出して下さい。
- ②温調ノブを外して下さい。
温調ノブは付属の3mmの六角レンチで固定ネジをゆるめ、引き抜いて下さい。
- ③クリップをそのままにしておいてヘッドナットを35mmのスパナで外して下さい。サーモカートリッジとリングがボディーから外れます。
(注) 中の残っている水がこぼれる可能性があります。



＜サーモカートリッジ再組立＞

- ①ミキシングバルブボディーの内側の表面は、カートリッジを新たに取り付ける前にきれいに清掃して下さい。スケール等の付着があれば取り除いて下さい。
 (注)バルブボディー内面は注意して清掃し、絶対に傷をつけないようにして下さい。
- ②カートリッジの清掃は、スケール溶解剤は使わないで下さい。
 カートリッジそのものはメンテナンスは不可能です。分解しないで下さい。
- ③カートリッジの“O”リングには付属のシリコングリスを塗って下さい。
- ④ミキシングバルブの温水入口がどちらかを確認し、温水の入口側にカートリッジのツメの赤マーク（Hと刻印）が来るようにサーモカートリッジを注意深く、ボディーに押し込んで下さい。
 その際、2つの入口“O”リングが所定の場所にあるかどうか、またカートリッジのツメがボディーの切り欠きに入っているかどうかを確認して下さい。



- ・ 逆止弁のシートに異物が付着したり、シートが破損した場合逆止弁は正常に働かなくなり、逆流を起こしてしまいます。

ミキシングバルブの給水入口の逆止弁の入口側が熱かったり、逆に給湯入口の逆止弁の入口側が冷たかったりする場合は逆流していると考えられます。

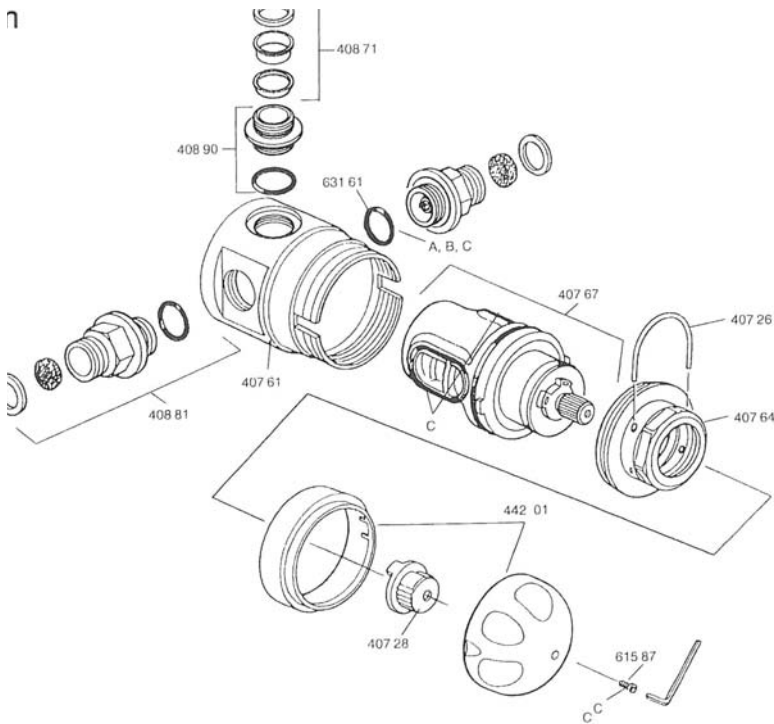
その場合は逆止弁のメンテナンスが必要です。

メンテナンスは下記の方法で行って下さい。

1. 給湯、給水の元バルブ（ボールバルブ）を閉じて下さい。
2. 逆止弁の頭の部分（キャップ）を外し、中の弁体（ケレップ）を取出し、シート面をチェックして下さい。又、ケレップの当り面（テフロン製）もチェックして下さい。各々付着物が付いていれば清掃して下さい。

3. 逆止弁のシート面にキズが入っていたら、逆止弁を交換する必要があります。
又、ケレップのテフロン面が損傷している場合はテフロンシートを交換する必要があります。

■スเปアパーツ



パーツリスト

407 26	クリップ 黒
407 28	ハブ 黒
407 61	ボデー；215oem
407 63	ボデー；215zc
407 64	ヘッドナット
407 67	サーモカートリッジアッセンブリー
407 75	エルボアダプター；215zc (2)
408 37	出口プラグ；215zc
408 71	当り面用インサート；215zc/oem (出口のみ)
408 79	エルボ；215zc (2)
408 80	逆止弁カートリッジ；215zc (2)
408 81	逆止弁カートリッジ；215oem (2)
408 90	出口アダプター；215zc/oem
408 91	ストレナーバック "B"
408 92	サービスバック "C"
442 01	温調ノブアッセンブリー；215zc
542 10	クイ込みリング 15mm；215zc (出口)
575 09	六角レンチ 3mm
615 87	温調ノブ固定ネジ
618 22	グラブネジ
623 70	袋ナット 15mm；215zc (出口)
624 19	3/4" 袋ナット；215zc (2)
630 41	"O"リング サービスバック 408 92に含まれます
630 59	"O"リング サービスバック 408 92に含まれます
631 61	"O"リング サービスバック 408 92に含まれます
636 10	ナイロンワッシャー サービスバック 408 92に含まれます
983 07	グリースバック (図示なし)

■メンテに関する連絡先

株式会社日本レオナード商会

大阪府豊中市浜2丁目 10-3

TEL：06-6336-0321

フリーダイヤル：0120-71-0321